

世田谷西部支部

天理教世田谷西部支部（東世分教会内） 発行責任者 岡庭正行 編集 支部編集部

令和元年 9 月 1 日発行

〒 156-0054

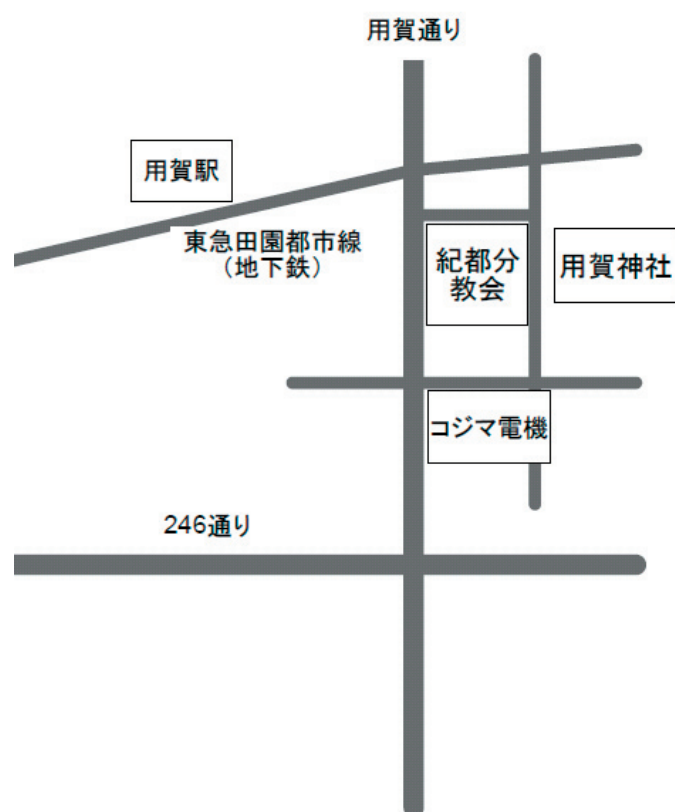
桜丘 2-6-3

TEL 3429-3271

9 月

全教一斉にをいがけデー

9 月のはにをいがけ強調の月です。地域の皆様と一緒に、にをいがけに汗を流させていただきましょう。支部内の教会長を始めようぼく、信者の皆様は一人でも多くご参加下さい。



全教会長路傍講演の日

支部内のすべての教会長は必ずご参加下さい

令和元年 9 月 28 日 (土)

会場 紀都分教会
会長 高木一茂

時間 15 時支部例会
例会終了後 (16 時予定)
用賀駅前「くすのき公園」にて
神名流し・全教会長路傍講演
リーフレット配り・清掃ひのきしん

住所 世田谷区用賀 2-18-17
電話 03-3700-1007

交通案内
田園都市線 用賀駅東口より徒歩五分
駐車場には限りがありますので、
電車でお越しください。

☆支部行事のお知らせ

・支部幹事会
例会開始一時間前 (28 日 14 時) に
幹事会を行わせて頂きます。

・教区特別ひのきしん
9 月 17 日 (火) 6 組 2 名
午前 9 時半～

・教区ひのきしん
9 月 19 日 (木) 1 組 2 名
午前 9 時半～

・婦人会例会
日時 9 月 17 日 (火) 午前 10 時より
場所 東世分教会
内容 男鳴物お稽古
TEL 03-3429-3271

【訂正】

前号「支部行事のお知らせ」欄にて
掲載の幹事会の日にちに誤りがありました。
した。正しくは「30 日 9 時半」でした。
お詫び申し上げます。

「雅楽初心者講習会」のご案内

毎月 18、19、20 日 午後 7 時～9 時

会場 東京教務支庁 本館 2 階各室

受講費 千円

講師 (笙) 長嶋 眞一
(筆簾) 打田 孝宣
(龍笛) 三澤 敬一

担当者 長嶋眞一 TEL 03-3907-0281

※初めて参加される方は担当者に連絡の上、ご参加ください。

・羽根木公園月例ひのきしん
日時 5 月から 11 月までの毎月 22 日
午前 9 時半～11 時まで
会場 羽根木公園
※管理事務所付近にご集合ください
作業 草取り、掃き掃除等の軽作業
※カマ等は各自でご持参下さい
雨天中止、小雨の場合は、南豊島分教会、
志村まで (TEL 090-3049-2749)

拠点教会	1 日号	8 日号	15 日号	22 日号	29 日号
千 山	直 送	直 送	直 送	直 送	直 送
玉 川	手配り	直 送	直 送	直 送	直 送
八幡山	直 送	直 送	直 送	直 送	直 送
東 世	手配り	直 送	直 送	直 送	直 送
神 本	直 送	直 送	直 送	直 送	直 送
本美穂	手配り	手配り	手配り	直 送	直 送
本 月	直 送	直 送	直 送	直 送	直 送

時報手配り 9 月予定

天理教婦人会 創立 110 周年 会員決起の集い 開催中

来年 4 月 19 日に開催される「天理教婦人会創立 110 周年」に向け、これの関連行事として、「会員決起の集い」が全国で続々と開催されています。

東京教区では 5 月 3 日の教務支庁会場を皮切りに、全 22 会場にて開催を予定しており、いよいよ 9 月の 5 会場を残すのみとなりました。

まだご参加されていない方は、是非この機会に参加させていただきます。

◇主催 天理教婦人会

◇プログラム（所要時間 約 2 時間半）

親神様、教祖、祖霊様 礼拝

開会あいさつ

ビデオ 1

講話

感話

ビデオ 2

おつとめ

閉会あいさつ

親神様、教祖、祖霊様 礼拝

◇対象 婦人会員

◇参加費 500 円



日時	会場	住所	駐車場
9/1(日) 午後 1 時	田無分教会	西東京市緑町 2-1-8	45 台
9/3(火) 午後 1 時	浅草大教会	足立区梅田 6-2-28	50 台
9/8(日) 午後 1 時	牛込大教会	新宿区高田馬場 4-4-32	なし
9/15(日) 午後 1 時	本保大教会	八王子市暁町 1-37-11	30 台
9/16(月・祝) 午後 1 時	東大教会	台東区東上野 5-3-14	なし

立教 182 年 全教一斉にをいがけデー リーフレットのコンセプト

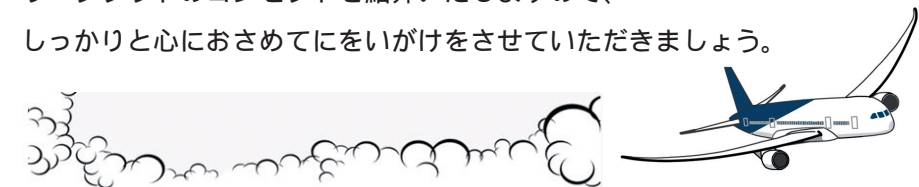


本年の全教一斉にをいがけデーのリーフレットは

「いつも”晴天の心”で」です。

リーフレットのコンセプトを紹介いたしますので、

しっかりと心におさめてにをいがけをさせていただきます。



本年は、おさしづにお示しくださる「晴天の心」をテーマとしました。どうすれば、お借りしている身体をすこやかに使わせてもらい、そして心明るく歩むことが出来るのかを伝えていくリーフレットとなっています。

晴天の心とは、曇りのない心のこと。曇りがなくなれば、私たちの気持ちも晴れ晴れとしてきます。その晴れわたるお天気にたとえて、明るい、わだかまりのない心の持ち方を教えられているのです。

おさしづに、「又晴天の心の日を以て何事もすれば、晴天というものは何をすれども、速やかな事が出けるものである。世界中曇り無けねば気も晴れる。速やかなるものである。……晴天の如く心を定め。この理もよく忘れぬよう。」(明治 21 年 8 月 9 日)と論されています。

雨模様の日は、雲や霧が垂れ込めて、陰気な雰囲気の漂う場合があります。しかしひとたび飛行機に乗り、上空に舞い上がると、お日様が光り輝いており、透き通った空がどこまでも広がっていることに気づきます。私たちにあてはめると、この雲や霧にあたるのが、心のほこりなのです。我さえよくば、今さえよくば、といった利己的な心遣いであり、それによって陽気ぐらしができなくなっているのです。そうした自己愛に溺れた、視野のせまい、じめじめとした曇天のような心から、人々の幸せを願い、視野の大きく開けた、透き通った晴天の心を持ちたいものです。

そのためには、心のほこりを反省し、人のことを思い、人のために生きることです。人だすけへと向かう生き方をすることによって、心は自然と澄み、常に晴天の心を楽しめるようになるでしょう。

全教一斉にをいがけデーは、私たちみんなが関わりを持って推し進めてゆくお道の全体行事です。この素晴らしい教えを一人でも多くの人たちに知ってもらえるよう、全国の教友とともに、お互いに声を掛け合って、勇んでにをいがけに出させていただきます。